

【実施報告】

ねらい

- ・自然物に触れ、野菜を育て収穫することによって、知的好奇心を高める。
- ・自分たちで育てた野菜を食べる経験を通して、神の恵みに感謝する。
- ・季節に応じて育つ野菜を知ること、四季の喜びをみんなで感じる。

〈1学期〉

園全体でイチゴの苗を育て、みんなで食べる。



3月に植えたイチゴの苗が育ち始め、みんなでお世話をし、食べることを楽しみにしていた。

園児全員のイチゴは一気には実らなかったため、誰が食べるのか、年長だけで食べるのか、年少にも分け与えるのかなど相談し、自分たちで等分し、1人一口ずつ食べることにした。

→イチゴだけでなく、みんなで食べられるものをと年長児が考え、野菜を育てるきっかけとなった。

これからの暑い季節に持つ夏野菜は何なのかを図鑑や本で調べたり、家庭で聞いてきたりして、自分たちが育てたい野菜を確定した。また、卒園の母から苗も頂いたので合わせて育てることにした。



実っていく流れを写生して、収穫を心待ちにしながらお世話を続けた。
また、アブラムシがよってこないようにアルミホイルをつけ、対策を行った。



7月に入り、自分の手で収穫できたことで苦手なものにも挑戦することができた。

収穫できた順に保育者が調理し、クラスで味わった。

また、他の学年にもお裾分けをして、園全体で味わうことができた。



7月に行われた年長のみのお泊まり保育でも自分たちで育てた野菜を食べたいという意見が出たため、バーベキューを行うことになった。

育てている野菜だけでは足りないことがわかり、自分たちで地域のスーパーに買い物に行き、調理も行った。

